
今日の方

2025年11月17日 ～ 11月23日

翻訳 藤岡 伸子
村越 克子
野口 恵美子

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は新改訳聖書第三版を使用しています
※翻訳・編集以外でも協力して下さっている兄弟姉妹がいます

御茶の水キリストの教会

11月17日(月)

イエス様の友

聖書朗読 使徒の働き 4:1~14

彼らはペテロとヨハネとの大胆さを見、またふたりが無学な、普通の人であるのを知って驚いたが、ふたりがイエスとともにいたのだ、ということがわかって来た

使徒 4:13

ある日の礼拝後、一人の男性が挨拶をしようと私のそばへやってきました。その方は私たちの教会の訪問者でした。私は「あなたはバールマンさんですか。」と尋ねられ、「ええ、そうです。母の旧姓がバールマンでしたが、どうしてわかったのですか。」と答えると、彼は、「話し方や見た目から、あなたのご親族だとすぐにわかりました。」と言いました。

今日の聖書箇所では、サンヘドリン(編注:ローマ帝国支配下のユダヤにおける最高裁判権を持った宗教的・政治的自治組織)は、イエス様を十字架刑による死へと追いやる上で大きな役割を果たしたことが描かれています。使徒4章で、彼らはイエス様の最も親しい友であるペテロとヨハネを目の前に立たせます。これは、騒動を引き起こした彼らの先生、イエス様の影響力をさらに弱める絶好の機会のはずでした。しかし、ペテロとヨハネの証言を聞く彼らには、二人の語る言葉がどれほどイエス様に似ているかということが分かっただけでした。ペテロとヨハネは、イエス様と共に過ごした時にはイエス様を理解できないこともありましたが、このときの彼らの言葉と行動は完全にイエス様を映し出していました。

さて、今を生きる私たちに出会った時、周囲の人たちはわたしたちをどう見るでしょうか。彼らは私たちのうちにイエス様を見出だすことができるでしょうか。今日、私たちは言葉と行動で、どのようにイエス様を映し出すべきでしょうか。

讃美歌 537 わが主のみまえに よろこびつどいて

祈り 父なる神様、今日私たちが、あなた様にもっと似た者となることを願うとき、どうか共にいてください。人々が私たちを見るとき、あなた様の姿を映し出す者として見られますように。あなた様を映し出す姿によって、他の人々をあなた様に従う者へと導くことが出来ますように。イエス様の御名によって祈ります。アーメン。

テキサス州 フォート・ワース / ケント・ベンファー

11月18日(火)

問題、祈り、そして宣べ伝える

聖書朗読 使徒の働き 4:23~31

彼らがこう祈ると、その集まっていた場所が震い動き、一同は聖霊に満たされ、神のことばを大胆に語りだした。
使徒 4:31

初期の教会はある問題に直面しました。その問題が会衆に伝えられると、彼らは直ちに祈りました。祈りの中で、彼らは神が創造主であり、過去に人々が神に逆らったことを認めました。そして、祈りのうちに、彼らの今の問題を神様に伝え、福音を宣べ伝え続けることができるようお願いしました。祈りの結果、彼らは大胆な者とされ、出て行って、神様のみことばを宣べ伝えました。

初期の教会で起こったことすべてが私たちにも起こるとは思いませんが、彼らの経験は私たちにとって助けとなるでしょう。問題に直面したとき、私たちは祈るべきです。そして、祈るとき、問題の只中にあっても福音を宣べ伝えることができるよう神様に求め、そして、宣べ伝え続けるべきではないでしょうか。

問題がありますか。祈ってください。そして宣べ伝えてください。かつての初期教会で起こったのと同じように、私たちもきっと助けられるでしょう。

讃美歌 224 勝利の主イエスの名と

祈り 神様、今週、私たちが直面する問題によって、祈りへと導かれますように。私たちの祈りが、福音を分かち合うことへと繋がりますように。初期教会のお手本を示してくださり感謝します。イエス様の御名によって祈ります。アーメン。



オクラホマ州 エドモンド / ハロルド・シャンク

11月19日(水)

励ます

聖書朗読 使徒の働き 4:36~37、ローマ人への手紙 14:19

そういうわけですから、私たちは、平和に役立つことと、お互いの霊的成長に役立つこととを追い求めましょう。
ローマ 14:19

知り合いの男性が長老になったとき、ひとりの友人がお祝いと励ましのために家にやってきました。友人は、「すべての人の励みとなるのが大事です」とアドバイスしました。その前向きなひと言は、人々を励ますことで、キリストに倣う者となる道へと、その新しい長老を導きました。

たいていの人は、誰かの言葉に深く傷つけられた出来事を少なくとも1回は思い出すことができます。でも、その一方で、誰かの励ましによって気持ちが高められ、強くなった瞬間を思い出すこともできます。

聖書に登場する2人のヨセフは苦しみと励ましの両方を知っていました。エジプト王パロに次ぐ権力者となったヨセフと、マリヤの夫ヨセフは、どちらも励ましを与える人でした。3人目のヨセフは、その励まし方があまりにも際立っていたため、“慰め(励まし)の子”を意味する「バルナバ」というあだ名が付けられました。(使徒 4:36)

祖母はよく「酔より蜂蜜の方がハエを捕まえやすい」と言っていました>(*編注:厳しくするより優しくする方が効果的だの意)まさにその通りです。私たちは皆励ましを必要としています。私が初めて会衆の前で説教をしたとき、緊張してうまく話すことができませんでした。そのとき、励ましてくれた3人の年配の女性たちに、私は今でも感謝しています。彼女たちの優しさと励ましがなければ、今の私はなかったかもしれません。

讃美歌 525 めぐみふかき 主のほか

祈り 天のお父様。あなたは、私たちが葛藤や失敗を耐えるときの要です。あなたは、私たちがより良くなるよう、あなたに喜んでいただくために努力し続けるよう、愛し励ましてくださいます。あなたは決して私たちをお見捨てにはなりません。それが私たちにとって何よりも大きな励ましです。イエス様のお名前において。アーメン。

オクラホマ州 エドモンド / リン・マクミロン

11月20日(木)

どんなときも親切に

聖書朗読 使徒の働き 28:1~10

お互いに親切にし、心の優しい人となり、神がキリストにおいてあなたがたを赦してくださったように、互いに赦し合いなさい。 エペソ 4:32

パウロたち一行と島の人々は、異なる国の民だったので、それまでまったく関わり合いがありませんでした。使徒の働きの最後の章で、パウロを乗せた船が地中海で難破したとき、同行していたルカによって直接書かれています。全員が生き残り、予定外のことでしたが、幸いなことにマルタ島にたどり着きました。『島の人々は私たちに非常に親切にしてくれた。おりから雨が降り出して寒かったので、彼らは火をたいて私たちみなをもてなしてくれた。』(1・2節)・・・それで彼らは、私たちに非常に尊敬し、私たちが出帆するときには、私たちに必要な品々を用意してくれた。』(10節)

島の人々の親切は、多くの島民の病を癒したパウロによって報われました。残念ながら昨今では、礼儀を欠いたり、人を見下したりするような態度がまかり通ることがよくあります。しかし、イエス様は、「目には目を」の正義ではなく、『何事でも、自分にしてもらいたいことは、ほかの人にもそのようにしなさい。』という“黄金律”に従って生きるべきだと教えられました。

鏡や机、車のダッシュボードに《どんなときも親切に》と書いた紙を貼ったり、あるいは、車のバンパーにステッカーを貼るといいかもしれません。

親切にするのは早すぎるということはありません。

いつ手遅れになるか分からないからです。

ーラルフ・ワルド・エマーソン*

(*編注:アメリカ合衆国の思想家、哲学者、作家、詩人、エッセイスト。1803-1882)

讃美歌第二編 169 み神のみまえに

祈り ご在天の親切なお父様。私たちの信念や相違が愛のないものにならないように助けてください。今日も、イエス様がされたように、どんなときも、親切を実践できるように助けてください。イエス様のお名前において。アーメン。

アラバマ州 トロイ / ジョージ・メリット

11月21日(金)

七つの大罪

聖書朗読 ローマ人への手紙 6:12~19

高ぶる目、偽りの舌、罪のない者の血を流す手、邪悪な計画を細工する心、悪へ走る速い足 箴言 6:17~18

深夜のトークバラエティ番組の司会者デビッド・レターマンが、毎晩、独自のトップ10リストを読み上げることを恒例にしています。しかし、そのずっと前から、倫理学者や神学者は避けるべき罪と、実践すべき美德のリストをまとめていました。

イスラエルの箴言に由来する“七つの大罪”は、神様が憎まれる七つのことをあげています。聖書は多くの箇所、この七つの大罪について、はっきりと警告しています。それは傲慢、妬み、怒り、怠惰、貪欲、暴食そして肉欲です。

天国と地獄についての壮大な叙事詩である『神曲』を書いたダンテは、このリストにあるものすべてを愛に対する罪だと考えました。傲慢、妬み、怒りは歪んだ愛から、怠惰は不十分な愛から、そして貪欲、暴食、肉欲は地上の物に対する過度の愛から生じます。

“七つの大罪”のリストは、十字架と私たちの罪がいかに関係しているかを気付かせ、私たちの目を開かせます。圧倒的で完全な神様の愛は、イエス様の生涯、死、そして復活において非常に力強く示されました。神様の愛は、聖霊の力を受けた聖潔な生活へと私たちにいざない、私たちは敬虔さを追求し、罪深い習慣を捨てるようになります。神様の招きを聞いて、しっかりと受け止め、謙虚で聖い生き方を求めることができますように。

讃美歌 262 十字架のもとぞいとやすけき

祈り 救い主よ。十字架が私の前にあります。十字架は私のすべての罪よりも大きいのです。あなたの血が私を覆い、私を自由にします。主よ、あなたの御恵みと愛に感謝します！ イエス様のお名前において。アーメン。



カリフォルニア州 オークパーク / アンディ・ウォール

11月22日(土)

せめぎ合い

聖書朗読 ローマ人への手紙 7:14~25

あなたがたは、地上のものを思わず、天にあるものを思いなさい。コロサイ 3:2

まだ、完全に木々の葉は地面に落ちていない晩秋にも関わらず、景色は突然冬の訪れを感じさせるものへと変化していました。まさに秋と冬がその地位を争うかのようなようでした。秋は何とか残ろうとあがき、冬は冷酷にも秋に襲い掛かってきました。

自然のせめぎ合いを見ていると、「私の人生でのせめぎ合いは何か」と思わされました。地上のことでと霊的なことのせめぎ合い。神様が与えて下さっている時間を、思いやりに満ちた考えや、良き人間関係を築くのに用いているのでしょうか。また、大切な時間を主をほめたたえることに使っているのでしょうか。それとも、冷たい自己中心的な思いや浅はかな考えが自分の思考の中に入り込み居座ることを許しているのでしょうか。

ある意味、あの偉大な使徒パウロでさえ、同じようなことで苦しんでいたことを知るのには慰めでもあります。パウロは、ローマ 7:25で、『私たちの主イエス・キリストのゆえに、ただ神に感謝します。ですから、この私は、心では神の律法に仕え、肉では罪の律法に仕えているのです。』と言っています。パウロはイエス様がこの地上を正すために来られたと記しています。イエス様の愛の恵みによって、私たちは救われたのです。

ですから、これから自分の人生で、何かがせめぎ合うことがあれば、立ち止まり、大きく深呼吸して、気持ちを切り替えましょう。イエス様に改めて目を向け、導いて頂きましょう。

讃美歌第二編 59 すべてのものを統らす神よ

祈り 愛する主よ、苦しみにあう時、また試みにあう時に、イエス様にフォーカスすることが出来ますように。イエス様の御名によって祈ります。アーメン。

インディアナ州 ラ・ポート / シェリル・ベーカー

11月23日(日)

多くの部分があっても一つのからだ

聖書朗読 ローマ人への手紙 12:4~5

ですから、ちょうど、からだが一つでも、それに多くの部分があり、からだの部分はたとい多くあっても、その全部が一つのからだであるように、キリストもそれと同様です。コリントI 12:12

週末、運動でやり過ぎて、私の身体が20代を遥かに超えていることを思い知らされました。どういうことかと言いますと、今、私はかなりひどい足底筋膜炎で苦しんでいます。初めての経験で、これが耐え難い苦しみなのです。簡単に走ったりジャンプすることができないばかりか、足を引きずって、かなり痛い思いをしないと、ほんの2歩も歩くことができないのです。このスポーツ傷害により、私の日常生活はほぼ機能停止となっています。

それは、どんなに小さな意味のないように思える身体の部分でも、機能しないと、身体全体に影響を与えることを思い起こさせてくれました。ある部分は他の部分よりかなり重要であり、よく使われるように思えますが、どの部分でも、ちゃんと機能しないと、身体すべてが苦しみます。これは、主のからだである教会にも言えることです。足を引きずったり、入院するほどのことではなくても、ある教会員の方が苦しんでいたたり、一人が欠けたりすると、教会全体に影響を及ぼします。

教会のひとりひとり誰もが役目を担っています。誰もが細やかなケアと愛情を注がれることが必要です。キリストのからだなる教会を、神様が意図されるように、健康的にそして機能的に働くように努めましょう。教会全体が整えられ、最高の状態で機能している時、地球上のどんなコミュニティも全く太刀打ちできないほどの最強の力を発揮するので

讃美歌第二編 24 世界をすべたもう主よ

祈り お父様、あなたが人々をご覧になるように、私たちもあなたの目で周りの方々を見ることが出来るように成長させてください。また、私たちに思いやりの心を与え、あなたとの、主にある家族との真の交わりを求めることが出来ますように。イエス様の御名によって。アーメン。

アーカンソー州 サーシィ / ジョー-デーヴィッド・キース